

## 【22\_106/技術系メルマガ】動き出しを捕まえる『③波理論』と『ダウ理論』

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

週末ですので、検証作業に精を出している方も多いかと思いますが

今日はそんな方へのネタ提供(笑)という事で、僕が現在トレードのセットアップに活用している『③波理論』について

「どうやって最初の①波を認識するか？」について整理してみようと思います。

▼③波理論の公開ファイルはコチラ▼

<https://lounge.dmm.com/detail/2481/content/12050/>

理屈だけを説明すると、『MAの収縮』(=揉み合い)の脱出と併せて大きな『動き出しの①波』を見れば

そこからのプルバックが丁度いい位置で終わった後の③波目が大きく伸びる傾向にあるので

その動きを狙ってトレードする

・・・という話になるのですが、実際動いているチャートを追って見ても

なかなかフィーリングを掴みづらいと感じる方が多いのではないかと思います。

やはり、大きく動く前にその動きを察知・想定しないといけないので

目と感覚が慣れていないうちは「本当にここから動くんだろうか？」という不安が先行し

『イメージ通りの動き』を掴めないまま置いて行かれるパターンが多いと思います。

ですが、それは慣れとともに徐々に解消されていくので、まずはパターンイメージを頭に入れておき

過去チャートから値動きの傾向を把握する(過去検証による母数集め)。

ある程度母数が集まったところで、デモトレードでのフォワードテストを通じて勝ち負けの振り返りをしていきましょう。

□  
■ ①波を見つける基本は『ダウ理論』から

それでも、やはり『①波探し』手がかりとなるものが無いと

なかなか検証も進まないかと思うので、一つポイントとなるものをお伝えします。

これまた、至る所で見事あるでしょうし、極めて古典的なパターン認識になるのですが

『ダウ理論(トレンドの切り返し)』がヒントになります。

▼(参考)トレンド転換を利用した①波探しのイメージ▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1514793897461174275?s=20&t=l8Lr0v4lgQigFRsytZzWKA>

ツイート内に添付した画像は、単に基本的なダウ理論のトレンド転換を示しているだけなので

メルマガ用に用意した補足画像を付けますね(笑)

▼狙うのはココだ！(メルマガ限定画像)▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/2022-04-14\\_trend\\_03.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-04-14_trend_03.png)

まず基本的な①波を認識して③波エントリーに繋げるコツとして

『短期足(M15足が信頼度高い)の戻り高値・押し安値抜け』を①波と認識し

そこからのプルバック終了地点で③波目を狙う要領でチャート探しをしてみると良いです。

もちろん、これだけだとチャンスが限られてしまうので

僕は応用パターンも併用して③波探しをしています。基本的なパターン認識は同じようなものです。

今はいきなりその応用パターンまで網羅しようとするよりも、上記のような『典型的に綺麗なパターン』をひたすら追っていき

フォワードテストをする段階では、このパターンを見つけた時には迷わずトレード出来るように視覚的イメージをしっかりと作っておくことが重要です。

これは本当に母数がモノを言うので、自分の監視する通貨ペアのチャートで1つでも多く検証をしてみてくださいね。

ちなみに、検証のやり方の基本については、『デイトレ講座』の【007】通目で詳しく解説していますので

そちらも併せてチェックしてくださいね。